

(学校番号258)

令和7年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【美園南中学校】

①	今年度の課題と学力向上策	
	学習上・指導上の課題	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能	<p><学習上の課題> ICTの導入は基礎知識の定着と習熟において効果的である。しかし、自らの学びをメタ認知自己調整していく力が弱い。</p> <p><指導上の課題> 生徒一人ひとりの学習状況を把握するための見取りを強化することが課題である。また、課題に基いた支援体制の充実が必要である。</p>	<p>⇒</p> <p>スタディサプリやドリルパーク等を活用し、国語や数学における基本的な知識の習得・習熟に取り組む。【朝活動時を中心に実施】</p> <p>スクールダッシュボードの効果的な活用を目指す。授業内で自らの学びを振り返る時間を設定し、次の学びにつなげられるよう留意する。【各教科担当の指示で実施】</p>
思考・判断・表現	<p><学習上の課題> 複数の知識や技能を組み合わせて表現すること。また、思考力を問う問題への取り組み状況に二極化が見られる。</p> <p><指導上の課題> ディスカッションやグループワークの時間を増やすこと、教師側から活動のフィードバックする時間が必要である。</p>	<p>⇒</p> <p>授業内容に即して振り返りやテストを活用することで、生徒自身が学習内容を整理し、次のステップへとつなげられる授業づくりを行う。【通年・スクールダッシュボードの授業アンケートを活用する】</p> <p>単元や章、節ごとの学習の区切りにおいて、自分の言葉で学習内容・取り組み状況をまとめ、整理する。【各教科担当の指示で実施】</p>

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	<p>R7年度全国学力・学習状況調査の「知識・技能」において、埼玉県の結果と比較し、国語+5.4pt、数学+7.8pt、理科0.2ptであった。国語・数学ではすべての問題において、全国・埼玉県平均を超える数値であった。理科では「生命を柱とする領域」に関する問題では-4.2ptと課題が見られた。方策としては、生命を維持する働きに関する知識が概念として身に付けられるよう授業で生徒の定着度合いを確認しフォローできるように留意する。</p> <p>数学においては、「図形の証明」に関する問題で理解度が非常に高いことが伺える。</p>
思考・判断・表現	<p>国語においては、特に「書くこと」に関する問題に得意な傾向がある。数学においては、思考・判断・表現のすべての問題で全国平均を上回る正答率であった。特に「図形」の証明に関しては全国平均を大きく上回り、問題を正しく理解し順序だてて回答する力に長けていることが伺える。理科では全国平均に比べ+5.1ptと知識・技能よりも思考力・判断力・表現力に関する問題の方が得意なことがわかる。その中で課題をあげるのであれば、「粒子」を柱とする領域に関してはまだ伸びしろがある。</p>

③	中間期報告		中間期見直し
	評価(※)	学力向上策の実施状況	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能	B	<p>ICT機器やデジタルアプリを活用し基礎的な知識を身に着けるよう指導を行っている。また、生徒の学習状況を把握し適切にフォローできるよう授業アンケートを活用し日々の授業を見直し指導を行う。</p>	変更なし
思考・判断・表現	B	<p>生徒の定着度合いに合わせて、学習のフィードバックやテストを行うことで、生徒が自身の学習内容・取り組み状況を整理・調整することにつながっている。学習が得意な生徒だけではなく、苦手な生徒にも適切な指導ができるように引き続き各教科でスクール・ダッシュボードの活用で学校全体で取り組んでいく。</p>	変更なし

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

⑤	評価(※)	学力向上策の実施状況
知識・技能		
思考・判断・表現		

⑥	次年度への課題と学力向上策
知識・技能	
思考・判断・表現	

※評価
 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一步)